

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム まえはら

作成日 : 平成 28年 5月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	『理念』が、職員しか理解できない文言になっているため、外部の方が、何を理念としてケアをおこなっているかが分かりにくい。	職員が原点に戻れる場所としての『理念』であり、また入居者さんやその家族・外部の人が見ても分かりやすい文言での理念を掲げる。	・職員勉強会にて、『理念』とは何かを理解する ・職員会議にて、自分達のケアの方向性・原点を話し合う ・具体的な言葉で、誰が見ても理解しやすい表現にする	2ヶ月
2	4 (3)	運営推進会議の内容が主に活動報告になっており、委員間の意見交換が活発に行えていない。また、記録に残すことができていない。	活動報告だけではなく、事業所の取り組みや改善課題を話し合える場にする 頂いた意見・助言等を記録に残し、職員間で共有することでより良い取り組みに繋がられる	・運営推進会議の前に、職員間で議題を考える(助言をもらいたい課題等) ・他の事業所とお互いに会議に参加し、より活発な会議にするための意見交換をする ・委員一人ひとりが意見を言いやすい環境やインタビュー形式を取り入れていく	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。